## 微分積分学A 定期試験

2023年8月3日第3時限施行 担当水野将司

注意事項: ノート・辞書・参考書・教科書・コピー・電卓の使用を禁ず.

## 問題 1.

次の問いに答えなさい.

- (1) 開区間  $I \subset \mathbb{R}$ ,  $a \in I$ ,  $f: I \setminus \{a\} \to \mathbb{R}$  に対し,  $f(x) \to A$   $(x \to a)$  の定義を述べなさい.
- (4)  $f: \mathbb{R} \to \mathbb{R}$  に対し、 $f(x) \to A$   $(x \to \infty)$  の 定義を述べなさい.

- (2) 開区間  $I \subset \mathbb{R}$ ,  $a \in I$ ,  $f: I \setminus \{a\} \to \mathbb{R}$  に対し,  $f(x) \to +\infty$   $(x \to a)$  の定義を述べなさい.
- (5)  $I \subset \mathbb{R}$  上の関数  $f: I \to \mathbb{R}$  が  $x = a \in I$  で連続 であることの定義を  $\varepsilon$ - $\delta$  論法で述べなさい.

- (3) 開区間  $I \subset \mathbb{R}$ ,  $a \in I$ ,  $f: I \setminus \{a\} \to \mathbb{R}$  に対し,  $f(x) \to A$   $(x \to a 0)$  の定義を述べなさい.
- (6)  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  に対して、Weierstrass の最大値定理の主張を述べなさい.

- (7)  $f:[a,b]\to\mathbb{R}$  に対して、中間値の定理の主張を述べなさい.
- (10)  $\arccos\left(\cos\left(\frac{7}{4}\pi\right)\right)$ を求めなさい.

- (8)  $f:[a,b] \to \mathbb{R}$  が [a,b] 上一様連続であることの定義を述べなさい.
- (11)  $y = \arctan x$   $(x \in \mathbb{R})$  のグラフの概形を書きなさい.

- (9)  $f: \mathbb{R} \to \mathbb{R}$  を  $f(x) := -x^2$   $(x \in \mathbb{R})$  で定める. 像 f([-3,2]) を求めなさい.
- (12)  $\lim_{x\to\infty} (\sqrt{x^2+5x-2}-x)$  を求めなさい.

(13) 
$$\lim_{x \to 2} \frac{2x^2 - 7x + 6}{3x^2 - 5x - 2}$$
を求めなさい.

この下は計算用紙として利用してよい.

(14) 
$$\lim_{x\to 0} \frac{1-\cos(2x)}{x^2}$$
 を求めなさい.

(15) 
$$\lim_{x\to\infty}e^{-2x}\sin(x^3)$$
 を求めなさい.

以下は計算用紙として利用してよい. 採点には一切利用しない.

 $x\sin\left(\frac{1}{x^2}\right) \to 0 \quad (x \to 0)$  となることを $\varepsilon$ - $\delta$  論法で示したい.

- (1)  $x \sin\left(\frac{1}{x^2}\right) \to 0$   $(x \to 0)$  の  $\varepsilon$ - $\delta$  論法を用いた定義を述べなさい. (2)  $x \sin\left(\frac{1}{x^2}\right) \to 0$   $(x \to 0)$  を  $\varepsilon$ - $\delta$  論法を用いて示しなさい.

## 問題 3.

 $f: \mathbb{R} \to \mathbb{R}$  を  $f(x) := 2x^2$   $(x \in \mathbb{R})$  で定義する. f が x = 1 で連続となることを  $\varepsilon$ - $\delta$  論法で示したい.

- (1) 示すべきこと (f が x=1 で連続となることの  $\varepsilon$ - $\delta$  論法を用いた定義) を述べなさい. なお答えに "f(x) そのもの" は使わないこと ( $2x^2$  は使ってよい).
- (2) f が x = 1 で連続となることを  $\varepsilon$ - $\delta$  論法で示しなさい.

## 問題 4.

 $f: \mathbb{R} \to \mathbb{R}$  を、 $f(x) := \sin x \quad (x \in \mathbb{R})$  で定義する. f が  $\mathbb{R}$  上一様連続であることを示したい.

- (1) 示すべきこと (f が  $\mathbb{R}$  上一様連続であることの定義) を述べなさい. なお答えに "f(x) そのもの" は使わないこと ( $\sin x$  は使ってよい).
- (2) f が $\mathbb{R}$  上一様連続であることを示しなさい. なお,  $\theta \in \mathbb{R}$  に対して,  $|\sin \theta| \leq |\theta|$  は断わりなしに使ってよい.

以下は計算用紙として利用してよい. 採点には一切利用しない.